

## 高橋 久光 議員（代表質問）

### 1 第4次総合計画後期基本計画を基 に伺う

- (1) 「芸術・文化の振興」の中で現状と課題について、特に、「新川古代神保存会」や「松坂踊り保存会」の現状について伺う。
- (2) 「福祉と健康のまちづくり」の中で、婚活支援事業について、若い年代からの結婚に対する意識や、結婚活動への支援、出会いの場、きっかけづくりの活動は、どのようにされているのか、その成果について伺う。
- (3) 「人が集う魅力あるまちづくり」の中で、居住・生活環境の整備、市内唯一の古民家街なみ、空き家、空き地対策の推進について伺う。
  - ア 旧街道（旧宮崎酒造跡地を中心として）瀬羽町地区と橋場周辺の環境整備は。
  - イ 中滑川駅前（旧JA跡地）の進捗状況について伺う。
  - ウ 滑川駅（あいの風とやま鉄道）周辺の旧市営住宅跡地のその後は。
  - エ 市内の市営住宅で老朽化が進み、入居者がいない所があるのでは。
  - オ ゲリラ豪雨対策で、長年の念願であった中川放水路、沖田川放水路が完成したが、その後は本当に安心していて大丈夫なのか。
- (4) 「活力あふれるまちづくり」の農・(林)・水産業の振興、働き手の確保対策についての対応について伺う。
  - ア 耕作農家離れによる請負者（営農組合等）の確保について、今後まだまだ離農者が増えると思われるが、現状で、賄いきれるのか。働き手の確保ができるのか伺う。
  - イ 当市は工場出荷額人口一人当たり、県内一といわれるが、市内労働人口について、今後減少が見込まれる。働き手と雇い入れについて今後の対応は。
  - ウ 我が市唯一の伝統的産業ともいえる家庭薬配置業（売薬）の人口減少についての対応をいかに考えているか。
- (5) 観光の振興について
  - ア ほたるいか観光だけに固執せず、市内各所の隠れた名所、旧跡地を掘り起こしする必要があると思うが。
  - イ 先日、我が市からも、参加した台湾観光キャンペーンの成果、見通しについて伺う。

(6) 人口、将来展望について

- ・ 「ひとが元気、まちが元気、産業が元気」の基本は、地域に住む人々ではないかと思うが、人口減少を踏まえ、本市の将来、5年後、10年後の推移を、どのようになると考えるのか伺う。

## 2 鳥獣対策について

(1) イノシシ、カラス、猿等の対策について伺う。

(2) 特にイノシシ対策として、家畜伝染病の「豚コレラ」の媒介対策はされているか。

## 古沢 利之 議員（代表質問）

### 1 就学援助について

- (1) 所得による判定を生活保護基準の1.0倍としているのは変えないのか。県内でも全国でも1.0倍は少数だ。引き上げで、援助の拡大を図るべきではないか。
- (2) 入学準備金は入学前に支給されるようになった。その際の判定基準は、申請時の当該児童の年齢によっているのか、入学時の6歳としているか。5歳児と6歳児では生活保護基準の金額が異なる。

### 2 国保税負担の軽減

- ・ 国保世帯の所得は低下している。とりわけ子育て世帯の負担軽減のために、子どもの均等割を減免すべきではないか。全国で広がっている。

### 3 子どもの医療費無料化について

- ・ 子どもの医療費無料化の拡大についての考えを問う。



## 中川 勲 議員（一般質問）

### 1 連携中枢都市圏について

- (1) 富山広域連携中枢都市圏を結んでから早くも1年8カ月経過するが、その効果は出ているのか。
- (2) 反省点もあるのではないかな。
- (3) 市民への積極的なPRが足りないのではないかな。

### 2 令和の時代の観光について

- (1) 台湾での観光PRの成果はあったのかな。それを今後どのように活かすのかな。
- (2) 市内に限られた観光資源をどう活用するのかな計画しているのかな。特に宿場回廊のPRと全面協力は。
- (3) ほたるいか海上観光、富山湾岸クルージングにおいて新しい試みはするのかな。
- (4) 滑川市ならでの旬の食材を味わう旅の企画を考えるべきと思うが。
- (5) 観光を力強く発信する戦略プロジェクトの設置が必要ではないかな。

### 3 公園について

- (1) 海浜公園芝生広場に隣接する広場に、下水道工事の残土が積み上げられているが、今後どうされるのかな。
- (2) 残土撤去後に周辺をどのように整備されるのかな。

### 4 選挙について

- (1) 若い世代が政治へ関心を持ってもらうには何が必要かな。

- (2) 選挙権年齢の18歳までの引き下げによる効果はどうであったか、また投票率はどうであったか。
- (3) 期日前投票所をもっと身近に出来ないのか。
- (4) 各種選挙における投票率はどうすれば向上するのか。

## 竹原 正人 議員（一般質問）

### 1 森林環境譲与税の活用について

- (1) 今回基金条例の制定により、今後当局としてどのような運用を目指すのか。
- (2) 今定例会において基金積立金として140万円予算計上している。来年度以降この譲与税の増減をどのように見込んでいるのか。
- (3) 基金として積み立てる以上、どこかの段階で取り崩して、事業に充当すると考えるが、どのような条件が整ったら、この基金を活用して事業を行うのか。
- (4) 森林経営管理制度についての本市の今後の取り組みは。

### 2 観光振興について

- (1) 台湾美食展へ本市がブース出展した成果をどのように考えているのか。
- (2) 来年度以降、ブース出展も含め、台湾との観光振興をどう進めていくのか。
- (3) 訪日外国人が滑川へ観光客としてたくさん来て頂けるよう、国が進めているクールジャパン戦略についてどう考えているのか。

### 3 シャンバーグ市との姉妹都市交流について

- (1) シャンバーグ市との姉妹都市交流を、今後どう進めていくのか。
- (2) 前回、市内中学生がシャンバーグ市へ訪問してから2年が経過した。来年度、訪問団を結成し、交流を図るべきではないか。



## 青山 幸生 議員（一般質問）

### 1 観光戦略について

- (1) 平成30年6月定例会で観光戦略を伺った。課長の答弁では食事、自然、景観、温泉などのコンテンツを使用したSNS映えをコンセプトに掲げたとのことだったが、その後どのように展開しているか。
- (2) (1)について所要の予算づけをされたか。
- (3) 現在、本市のSNS映えをするものは何か。それを仕掛ける工夫はあるか。
- (4) 滑川市の特産物については、本市出身の谷井孝行さん、つかさ学さんをはじめ5組の著名人、著名団体にそれぞれPRしていただいた。波及効果の数字は把握しているか。
- (5) 第5世代移動通信システム「5G」が2020年に予定されている。観光課は次世代のツールを理解しなければならないと考えるが、情報収集はどうか。

### 2 人口増加について

- (1) 国の幼児教育無償化に伴い、第2子保育料無料の本市最大の差別化が消える。次なる手は。
- (2) 都市計画マスタープラン住環境創出地区の老朽空き家を買取りし、新たな若者向け戸建てアパート建設はどうか。特に東加積地区、中加積地区。
- (3) 行田公園の整備をはじめ、堀江ふれあい公園、スポーツ・健康の森公園など市民の憩いの場が充実している。もっと公園都市滑川をPRしてはどうか。
- (4) スポーツで輝く生徒が増加している。高校生へ県外通学支援はどうか。



## 浦田 竹昭 議員（一般質問）

### 1 シャンバーグ市との交流について

- (1) 姉妹都市である米国イリノイ州シャンバーグ市との親善交流の一環として、2017年8月に実施された滑川中学校と早月中学校の子どもたちの訪問事業の評価について見解を問う。
- (2) 親善交流である中学生の子どもたちの、シャンバーグ市への訪問事業の今後の継続について見解を問う。
- (3) 事業継続の観点から、各中学校1年2年3年各学年から募集選考し、3年ごとに訪問事業が実施できないか。そうであれば、来年が実施年度となるがその準備について見解を問う。
- (4) シャンバーグ市ドゥーリー小学校と東加積小学校との、文通交流についての現状と、今後の予定並びに継続について見解を問う。

### 2 自転車活用推進施策について

- (1) 自転車の活用の推進として、環境負荷への低減、交通機能の維持、スポーツとしての機会創出、安全安心環境の創出等、計画的施策の策定について見解を問う。
- (2) 自転車事故防止の観点から、自転車関係法令の遵守、自転車の適正な利用の知識習得等、自転車交通安全教育の充実について見解を問う。
- (3) 自転車損害賠償保険等の加入への必要性、並びに事故事案等情報の提供、普及啓発施策について見解を問う。
- (4) 自転車活用推進条例の制定について見解を問う。

### 3 ドクターヘリのヘリポートについて

- (1) 高齢化の進展や災害・事故対応の増加等の観点から、ドクターヘリの救急搬送の必要性、重要性そして安全性が期待されており、需要の傾向

と対応・対策について見解を問う。

- (2) 多くの指定ヘリポートのなかで、救急搬送の拠点、当市の中心地点でもある消防署グラウンドの、ヘリポートとしての施設整備について見解を問う。

#### 4 中滑川駅前周辺整備事業について

- (1) 基本構想の、行政としての位置付け・認識について、並びに行政の事業が議会で可決されてから事業の執行へのプロセスの認識について明確な見解を問う。
- (2) 設計（基本・詳細）を依頼する入札行為が、実施されていないが、見解を問う。
- (3) 中滑川駅周辺地区整備基本構想の内容に基づき、設計に向けての設計与件、いわゆる設計条件、仕様等の確認事項について見解を問う。
- ア 駅前施設のコンセプトの一つが、災害時の避難拠点施設であるが、主にどのような災害を想定されているか、見解を問う。
- イ 災害時の避難拠点施設として、最大収容人数並びに収容期間を想定されているのか見解を問う。
- ウ 災害時、停電に伴う電源確保対策として、太陽光発電、バッテリー、仮設発電設備、燃料貯蔵設備等の設置、そしてそれら容量等の想定について見解を問う。
- エ 災害時の情報ラインの混乱に伴う、情報の収集、受発信等の情報システム確保対策としての対応の想定について問う。
- オ 災害時、水道ラインの停止に伴う、水源確保対策として、貯水設備の設置並びに容量等の想定について見解を問う。
- カ 災害時、避難生活に欠かせない、トイレ設備、入浴設備、厨房設備等の設置、並びにその規模の想定について見解を問う。
- キ 備蓄倉庫について、食料品、避難仮設備品等の収納種類・保存数量も含め、どの程度の規模を想定されているのか見解を問う。
- (4) 災害時の避難拠点施設として、一時避難所とはいえ、被災者・避難者が安心して安全に過ごせる避難拠点施設でありたいと期待し、見解を問う。

## 角川 真人 議員（一般質問）

### 1 コミュニティバスについて

- (1) 高齢者運転免許自主返納支援事業でのフリー乗車券の利用期間を見直すべきではないか。
- (2) 中高生の利用を促進するため、学生割引や往復券を検討してはどうか。
- (3) コースによって通院や買い物への利便性に差がついている。デマンドタクシーなど時間に縛られないサービスの検討をもっと進めてはどうか。

### 2 厚生連滑川病院について

- (1) 10月に実施予定の消費税増税による経営への影響は、どのようなものだと見ているか。来年度以降も、これまでと同じような支援で運営はできると思うか。
- (2) 準公的病院と見ているこの病院を支えるため、人員確保のための手立てを考えてはどうか。

### 3 連動式火災報知器について

- ・ 県で実施されていたモデル事業の結果を受けて、どのような検討がされたのか。



## 開田 晃江 議員（一般質問）

### 1 防災について

#### (1) 防災士の取り組みと現状について

- ア 防災士資格取得者は1年に何人か。そのための補助は100%なのか。滑川市の防災士は総勢何人か。
- イ 防災士の役割は具体的にどのようなことを指すのか。
- ウ 市に連絡協議会などは設置されているのか。防災士の育成支援はどの部署で行われているのか。
- エ 市からの補助内容と補助金額はどのようになっているか。
- オ 二次災害を防ぐための長靴、手袋、カップや滑川市防災士と記した揃いのヤッケ等の備品や、赤ちゃんやお年寄り、女性のための研修会などの受講経費はどのようになっているのか。
- カ 災害はいつ、どこにやってくるか分からない、各事業所で防災士の資格を取得しようとするとき、支援態勢はどうか。事業所内の防災士取得者は何事業所で何人か。
- キ 地域の防災力を高めるために、市内の地形や川の保守点検など弱点を一番把握して、住民に適切にアドバイスのできる人といえ、市役所職員OBであろうと考えるが、市役所職員OB等で組織する「滑川市防災士活動事業隊」など結成できないか。リーダー的存在として。

#### (2) 非常用持ち出しグッズ購入の呼びかけと、購入者に補助制度を設けてはどうか。災害時に一晩だけの備えがあればまず安心。佐賀県の大災害報道の中でも備えることの大切さが伝えられている。

#### (3) 学校や公民館などの避難所における防災トイレ整備や停電時の電力確保等、達成率はどれほどか。

### 2 滑川運動公園について

#### (1) 植樹が行われた公園の一角はあの状態でいいのか。植樹保険もあると聞いたが、最初から樹木管理を計画していたか。育っているのは何割か。指定管理業者は決まっているか。

#### (2) 全国植樹祭会場の今後の管理体制の考えを伺う。

#### (3) 滑川市のビュー・スポット付近の整備はそのままか。

(4) 滑川市は公園が急激に増えている、公園緑地課の職員が少ないのではないか。担当職員は何人か、いよいよ公園維持班をつくれればどうか。

## 脇坂 章夫 議員（一般質問）

### 1 学校図書館について

- (1) 学校内（屋内外含む）で自由に好きな所で本が読める環境があるか。
- (2) 読んだ本の内容の発表や意見交換会等があるか。
- (3) 児童生徒が担任や校長等、自由に本の内容を話し、いろいろな考えを聞く機会があるか。
- (4) 児童生徒全員に辞書（国語、社会、科学等）を配布できないか。（自分で調べる力を養う）
- (5) 県下一番の読書学校づくりができないか。
- (6) 今一番、読書について児童生徒に教育、支援する時ではないか。

### 2 イノシシの農作物被害について

- (1) 被害防止用柵等の新設工事期間を延長できないか。
- (2) 現存設置されている防止用柵等の補強、補修等も補助が受けられないか。
- (3) 県道、市道にグレーチングの設置ができないか。
- (4) 何か新たな対策はないのか。

### 3 東福寺野自然公園について

- (1) 自然公園内のイノシシ、熊対策はどうか。
- (2) 研修センターの利用者数はどうか。
- (3) 研修センターにまた来ていただくPRはしているのか。

(4) 研修センター内外にカフェテラスを設置する考えはないか。

#### 4 タラソピアについて

- ・ 損害賠償履行請求事件の判決について
  - ア 今回の訴訟内容は何か。
  - イ 改修箇所の利用者の声はどうか。
  - ウ 8月28日、富山地裁において和久田道雄裁判長が原告側の請求を棄却した。このことについて市の見解を伺う。

## 大浦 豊貴 議員（一般質問）

### ・ 海辺の保全・再生・活用について

- ・ 海辺は、多様な生物が生息・生育する空間であるとともに、人々の生活の場でもある。人は、この貴重な空間を利用・保全し、自然と共有することで本市の文化・歴史・風土を形成してきた。一方で、人為的な諸活動や寄り回り波、冬季波浪により、その環境が影響を受けやすく環境悪化や海と人、生活の結びつきも希薄になっている。国においても昭和31年に施行された海岸法は、主に海岸浸食から海岸を防護することを目的としたものであり、海岸管理における地域の意見の反映や、国と地方の役割分担の明確化等も十分ではなかったことから、海岸法施行令の改正を行いながら「防護」「環境」「利用」の3つに重点を置くこととした。これらを踏まえ滑川市の取り組みについて問う。

ア 富山県では、海岸法第2条の2第1項の規定に基づき、富山県海岸保全基本計画が策定され、平成28年1月の海岸法施行令改正に伴い「海岸保全施設の維持管理又は修繕に関する事項」が追加された。防護水準として高潮・越波からの防護については、計画高潮位に計画波浪の影響を加え、これに対して防護することを目標としているが、本市の水準はどうか。

イ 令和2年度重点事業でも、引き続き本市の海岸延長約7,900mの堤防補強及び嵩上げなどの海岸保全施設の整備促進を要望しているが、市民より危険性が高いと要望が出ている区域はあるか。また、著しく老朽化が進んだ区域、沈下している個所はあるか。

ウ これからの海岸づくりとして「広域的な土砂移動と河川からの供給土砂により海浜を回復する総合的な土砂管理」では「海浜砂は有限なもの」と認識し、各海岸管理者が連携し、サンドバイパス、ならびにサンドリサイクルを推進する。また、公共残土の有効活用など、海岸への供給可能な安価な土砂量の増加を目指す」とあるが、本市の海岸づくり、ならびに公共残土の有効活用として供給可能か。

エ 富山県海岸保全基本計画を策定するにあたり、沿岸9市町の10地区において懇談会が開催され、環境に対する要請に海岸環境の保全や再生、漂着物やごみ問題・処理対応などが課題とされたが、滑川市の現在の海岸環境、環境整備に対する見解を問う。

オ 平成21年に公布・施行された海岸処理推進法は、令和元年5月31日に法改正を踏まえた海岸漂着物対策を総合的かつ効果的に推進するための基本的な計画の変更が閣議決定され、その中の処理の責任等について「市町村は、必要に応じ、海岸管理者等に協力しなければならない」とあるが、「必要に応じ」について説明を求める。

- カ 明治40年代から昭和60年ごろまで和田の浜は、海水浴場として市民に親しまれ賑わっていた時代背景があるが、現在では、滑川市の海は、遊泳禁止だと認識されている市民がいる。何故そのように認識されているのか見解を問う。
- キ 2017年7月に日本財団が、現在の日本人の海への意識や行動の実態を明らかにすることを目的として、全都道府県15歳から69歳の男女を対象に10代2,200サンプル、20代から60代9,400サンプル（各都道府県200サンプル）により、海と日本に関する意識調査を行い、結果を公表した。その中で10代から30代の2人に1人は海が好きだといえない。10代の4割は海への親しみを感じないとあった。本市の子どもたちの海への意識や行動について見解を問う。
- ク 環境問題と教育の必要性・充実度・学習機会の提供について教育委員会の見解を問う。
- ケ 現在、滑川市海岸延長7,900mは、誰もが気軽に利用できる海岸なのか、憩いの場となり得ているかなど、利用に関して人々のニーズは高度化・多様化しているのではないか。ニーズに対する見解を問う。
- コ 総合計画の中でも観光資源の発掘・整備等は課題とされ、ダイビングスポットの環境等整備もその一つにあるが、進捗状況はどうか。整備計画について問う。
- サ 海洋性レクリエーションには、海上アスレチックやシュノーケリング・SUP・シーカヤック・カヤックフィッシングなど様々あり、ほたるいかミュージアム周辺・滑川漁港周辺の利用環境整備やレクリエーションスポットの創設を目指し、ダイビングスポットを含め、総合地域計画を策定してはどうか。

## 尾崎 照雄 議員（一般質問）

### 1 防災について

- (1) 地区防災計画について
  - ア 地区防災計画に対する認識と課題について
  - イ 地区防災計画の制度の普及・啓発活動について
- (2) 「地方公共団体のための災害時受援体制に関するガイドライン」に基づく受援計画策定について
  - ア 受援計画策定への認識と課題について
  - イ 受援計画策定に関する取り組みについて

### 2 働き方改革について

- (1) 市職員及び市の指定管理者の職員について
  - ア 残業時間の直近2年間と先月までの推移について
  - イ 有給休暇取得率の直近2年間と先月までの推移について
- (2) 教員の働き方改革について
  - ア 出退勤管理による労働時間の推移について
  - イ 夏季休暇の取得について
  - ウ 授業時数の見直しについて
  - エ 給食費の徴収業務について

### 3 公共施設について

- (1) スポーツ・健康の森公園の入り口付近に観客が集まる階段席があるが、屋根をつけてはどうか。
- (2) 東福寺野自然公園には、入り口側とS Lホテル利用者駐車場側に林道に分かれる箇所が2カ所ある。道に迷わないように看板を設置してはどうか。
- (3) 東福寺野自然公園の管理棟からS Lホテルに通じる道の夜間照明が暗い。安全確保のため、明るくしてはどうか。